



夏休みは楽しいなあ

ただ今、夏真っ盛り。学校は長い夏休みに入り、地域では子どもたちが、この夏休みを有意義に過ごせるようにと、スポーツ大会、ハイキング、旅行など、いろいろな催しが行われています。
 夏休みは、子どもたちが学校を離れて、社会勉強するのに絶好の機会です。キャンプもそのひとつで、写真は東下台子供会が七月二十三日二十四日に旧壬生中校庭で行ったキャンプの飯ごう炊さん風景です。

3 広報みぶ
有害図書自販機設置台数の推移
(下都賀福祉事務所調べ)

市町名	54年1月	55年1月	56年1月	57年3月	58年3月
藤岡町	1台	1台	1台	1台	0台
都賀町	0	0	1	1	1
国分寺町	1	1	1	5	3
石橋町	2	3	0	3	3
野木町	4	8	8	9	6
大平町	3	3	7	9	8
岩舟町	4	13	20	17	13
壬生町	6	10	13	21	16
栃木市	11	20	35	26	23
小山市	18	43	42	41	40
計	50	102	128	133	113

青少年の健全 有害図書

買わない、売らない
持ち込まない運動

ビニ本追放は、土地提供者は

土地提供者の方は、有害図書自販機が青少年の健全育成に悪影響を与えていることをご理解いただき、契約更新時には、是非解約していただくようお願いいたします。

土地提供者は契約
更新時に解約を

支払われることが多く、また買った額が入るので、魅力となり土地の提供をやめにくくしている。

また、私たちの目で見れば、青少年に買わせないように、また各商店家庭においても、売らない、持ち込まないよう、皆さんでこの運動推進にご協力ください。

私たちは、青少年の健全育成の立場から、今の社会環境を見

町ぐるみで非行の追放を 青少年健全育成大会開く



四百人が参加して行われた町民総決起大会

青少年健全育成モデル地区推進協議会をはじめとする、十八団体共催の第一回町青少年健全育成町民総決起大会が、七月中旬中央公民館で行われました。

大会は、青少年を犯罪や非行から守り、地域住民一人ひとりが力を合わせ、明るい地域社会をつくらうと開かれたもので、会場には約四百

人が集まりました。初めに、主催者を代表して、町PTA連合会長で青少年健全育成会長の久保田信夫氏が「犯罪や非行のない明るい社会の実現は、町民すべての願い」と大会趣旨を説明、来賓の検井町長川田柳本警察署長などからも非行追放のあいさつがありました。続いて、伊勢沢清宇都宮家庭裁判所次席調査官の「最近の少年非行の特徴」と題する記念講演と「覚せい剤」の映画上映があり、最後には子供に深い愛情と厳しさをもって接し、子供の忍耐力と克己心を培うのあいさつ、運動、他人の子供をいかに運動を進める③有害図書自販機などの有害環境の浄化に地域ぐるみで取り組む④暴走族を追放するの四項目からなる大会宣言を採択して、閉会しました。

壬生町民憲章 きまりを守り互いに信じあう明るい町をつくりま

育成に悪影響 自動販売機〇の町に

セロ



青少年の健全育成を大きく阻害している有害図書の自動販売機が、町内の小中学校の通学路などに設置されています。

そこで、町内の各種団体が一体となって、七月十七日中央公民館で「青少年健全育成町民総決起大会」を開き、有害図書の自動販売機撤去を含め、青少年の犯罪や非行の撲滅運動を、全町あげて展開していくことになりました。今回は、有害図書の自動販売機にまつわる問題を考えることにしましょう。

まだ本町に 16台の自販機が

この問題については、昨年壬生中学校区域が、県警から「青少年健全育成モデル地区」として指定を受けたため、推進協議会（久保田信夫会長）を設けて主に有害図書の自動販売機追放を呼びかけてきました。現在までに、八台が撤去され

ましたが、まだ十六台残っており、推進協議会をはじめとする各種団体が協力して、住民の盛りあげから、これらを町から追放していくというところになったものです。

町民の皆さんも一緒に、この運動を進めていきましょう。

なぜ有害図書の自販機が問題なのか

自販機で売られている図書は、裸体を露骨に描写しているため、青少年の欲望を直接刺激するので非行に走る例が多い人の目に触れないで、いつても誰でも手軽に買えるため、小中高生が簡単に入手できる

業者と土地提供者の
貸借はどのように

業者と土地提供者との契約期間は、一～三年が一般的です。土地提供者に対し、一般週刊誌を販売するようなふりでの契約し、数カ月後は徐々に成人向け誌に変えてしまう。契約書には、期間満了一週間前に申し出がなければ、自動的に更新される。旨記されていることが多いが、契約の際には触れない。土地の提供者側から途中解約する場合、違約金を取られる内容の契約が多い。

土地提供者に対しては、電気代と称して賃借料が一～一万五千円くらい支払われ、途中解約を防ぐため、年額一括

元設置者
Yさん（商店主）

私は実際に一年三か月くらい自販機を置きました。最初は、多少の収入があればと、気軽に置いたのですが、ビニ本の世間体が悪い上、夜中につり銭が出ないなどのトラブルがあり、撤去しました。業者はすぐに取り替えてくれましたが、強行に撤去してもらいました。今、よかったと思っています。

壬生乙
Kさん（主婦）

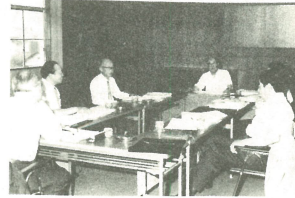
私の近所に四年くらい前に自販機が設置され、毎朝私の家の門に三～四冊積まれているので子供に影響が及ぶのでは大変だと思っています。それから、自販機のところは暴走族のたまり場になっているので、早期撤去を望んでいます。なんとかしなければならぬと思いますが、私と同じように近所の人も、見えないふりをしているのではないかと思います。

幸町三丁目
Tさん（主婦）

有害図書の自販機は、ない方がよいと思いますが、私は非行

9月は「敬老の月」です

町行財政懇談会がスタート 民間の目で行財政の見直し



いろいろな角度から検討されている懇談会

具休化は来年度 予算から

この懇談会は、町長が今年の抱負として年頭に掲げたもので町長から委嘱を受けた青木信也氏（思川砂利物社長）、塩澤弘氏（北研産薬社長）、鈴木武雄氏（町商工会長）、中村広美氏（前農林会議事務局長）、平田好雄氏（輸出玩具工場団地理事長）、横山茂氏（県養殖漁業協同組合長）の六名で構成し鈴木会長、横山会長代理を演出し、会がスタートしました。懇談会では町で意見を頂きたい事項等を説明して、これらを主として項目ごとに細かく検討していきます。町ではこの懇談会のご意見を最大限に取り入れ、五十九年度の予算に反映させていく予定です。

なぜ行政改革は 必要なのか

行政改革とは、「時代の要請に即応した簡素化を図り、効率的な行政をつくること」で、国の行政改革をはじめとして県とし

行革であすの町 発展の活力を

町民の行政に対する要望は幅広く、多岐にわたってきています。

本町における行政改革は、常に事務合理化、支出の見直しを実施していますが、この懇談会設置を機会にさらに歳入歳出の見直しを行い、町民全体の生活教育などいろいろな環境向上を図って、活力ある将来の町の発展を目指すものです。

県政への要望がいっぱい 県民セ・稲葉地区で座談会開催

県南県民センターでは、県政に対する事直意見、要望、苦情等を聞いて、地域の実情を的確に把握し、県政に反映させるため、七月十一日稲葉地区公民館で稲葉地区を対象に、地区座談会を開きました。

座談会には、稲葉地区の自治会長が出席して、県政への要望事項を出したもので、要望事項は県でそれぞれの担当課へつないで検討し、できるものから実行していくことでした。

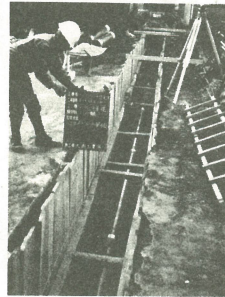
県政に対する要望は、次の通りです。



稲葉地区公民館で開かれた座談会

- ・黒川橋の橋脚が洗われてしまうので、補強工事を願いたい
- ・県道国谷・羽生田線の羽生田地区、新設路線工事は、土地改良区のは場整備と合わせて実施して欲しい
- ・黒川の狹狭河（福和田橋上流約三百メートル地点）に砂利を堀った跡が、そのままにあり危険なので、埋めて欲しい

快適な居住環境を求めて 9月10日は下水道促進デー



下水管はこのように市設される

九月十日「全

国下水道促進デー」です。この日は下水道について、国、県、町、地域住民が一体となって考え、整備促進をはかりとうとする国民運動の日です。

図画・標語・作文 写真を募集

下水道は、快適な居住環境を実現し、河川、湖沼、海などの公共用水域の水質汚濁を防ぐため、重要な役割を果たす施設ですが、その普及は他の公共施設に比べて著しく立ち遅れています。このため一日も早く下水道の建設を促進し、快適な人間性あふれる美しい都市環境を創り出すため、一人ひとりの自覚が必要

らでも可、ポスターには「九月十日全下水道促進デー」および「新下水道法施行二十五周年記念」の文字を入れる

○標語の部……資格制限なし
官製ハガキ一枚に二点以内、住所、氏名、職業、年齢、電話番号を明記のこと

○作文の部……小学生
小学生一〇〇〇一六〇〇〇字
中学生一六〇〇一六〇〇〇字
四〇〇字語原稿用紙（テラ書）

○写真の部……資格制限なし
白黒、カラーいずれも可、キヤベネ一四四判、自撮未発表のもの、賞賛者はネガを提出

職業、撮影日時、場所、写真データ等を添付

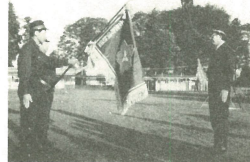
締切り 十一月三十日（当日消切有効）

発表 昭和五十九年三月一日
送先 〒一〇二 東京都千代田区九段南四一八一九
（株）日本水道新聞社出版
企画部下水道コンクール係

県ポンプ操法大会

本町が郡の代表で出場

選手の結団式・団旗の入魂式終る



新しい団旗が町長より手渡される

県消防ポンプ操法大会に、本町が郡の二市八町を代表して、消防ポンプ自動車および小型動力ポンプの部に出場が決定し、出場選手は毎朝、猛訓練を行っています。

この大会は、毎年行われその出場選手は郡内市町持ち回りで今年は私たちの町が当たり、県大会上位入賞を目指し、五月十一日から連日訓練を行ってきました。

この操法大会出場選手の結団式は、七月五日田王生中体育館で行い、町長から「連日の訓練によってすばらしくった、町議会でも質問がでるほどで、一般町民の関心も高く、代表として頑張っていて欲しい」とあいさつがあり、続いて、松本議長はじめ来賓の方から激励のあいさつがあつて、最後に出場選手団が紹介され、閉会しました。

また、消防操法大会に出場するにあたり、立派な団旗が新調され、七月十二日その入魂式を行いました。

操法大会にその団旗を掲げて一層の重みを感じられました。

出場選手は、次の通りです。

（敬称略）

消防ポンプ自動車部の部……寺内秀夫、鈴木正美、丸山源一郎、荒川克己、関本和夫、佐藤了

小型動力ポンプの部……鈴木好一、石井誠一、中嶋正、南坂茂男、薬島好雄

シートベルト
着用推進運動

頼りになりますシートベルト

面倒がらずに締めましょう

運転免許を持っている、いなかからわらず、十人のうち八人までが、交通事故の際のシートベルトの効果について、死者や重傷者を少なくするのに役立つ」と答えています。総理府、世論調査。

しかし、その反面、シートベルトの着用率は低く、高速道路では運転者、助手席両乗者とも、約〇パーセント、一般道路ではわずかに〇パーセント台というが実情です。

「わかってはいるけど、着用手間い」——その理由をみると、「面倒だから」が最も多く、次いで「きつくてつたから」「わすれしから」「自分は安全運転しているから大丈夫」などとなっています。

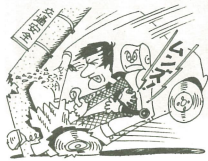
しかし、面倒だから、わすれしからといって、一つしかない生命を危険にさらすのは、あまりにも「無謀」といえないでしょう。

それに、シートベルトを着用するのがそんなに面倒なことなのか？ また、自分さえ安全運

転していれば本当に大丈夫なのか？ このような言い分を一つ一つ再点検しながら、改めてシートベルトの着用効果について考えてみましょう。

▼いちいちシートベルトを締めると面倒くさく……
シートベルトを締めたりは少しなり……ほんの二、三秒あれば十分です。現在ではシートベルトの性能もよくなり、ほとんどのバックルをセツとするだけのワンタッチ式になっています。

また、車種によっては、緊急ロック巻取り装置という便利なシートベルトもあります。これはベルトの長さも調節する必



要がなく運転中も自由に身動きでき、緊急のときだけ自動的にロックされるのです。

いすれもわずか数秒で着脱できますし、特別のわずらわしさや束縛感はありません。

▼ちよつと買い物にせよまで行くだけだ、シートベルトをしたら何となくカッコ悪いから……

運転距離が短いからといって、事故は、いつ、どこで起こるものとも限らないのですから、シートベルトを着用しなくてもいい理由にはなりません。

また、シートベルトを格好悪いと思っているあなた、人に見せるためにクルマに乗っているのですか？ シートベルトの必要

性をよく知っている人だったら、だれも格好悪いなんて思いませんよ。

▼自分は運転歴も長いし、安全運転を常に心がけているから大丈夫……

もちろん、安全運転はドライバの鉄則ですが、道路を走っているのはあなたのクルマだけ



どを明らかにします。

調査結果は、これからの住宅政策を進める基礎資料として利用され、徴税などの資料として用いることはありません。また調査内容は他に漏らすことのないよう、法律で固く禁じられています。

九月下旬頃、調査員が調査対象調査区内のご家庭に調査票記入の依頼をお願いしていますので、ご協力をお願いします。

みなさい」など、家族どうしのあいさつができるようにする。

また「あいさつ通り」「あいさつ広場」を利用したり、山歩きなどの機会を利用して、見知らぬ人にもあいさつや会釈ができるようにする。

▼交通ルール
交通信号を守る、横断歩道を渡るなどの交通ルールを身につける。

▼時間の助
帰宅時間や寝る時間など、約束の時間が守れるようにする。

▼思いやり
相手の立場が尊重できるようにする。

▼公德心
廃物で何かをつくるなどして自分の物に限らず、公共の物を大切にすることを養う。

「おはよう」「ただいま」「おやす

身につけさせるために

基本的な生活習慣を

欠かせない

子供の健全な成長に

欠かせない

子供の健全な成長に

一人ひとりのマナーで騒音防止を!!

最近、増えてきているクーラー、ピアノ等による近隣騒音の問題——その内容はいずれも日常的な暮らしの音です。

しかし、日常的な音であるがゆえに深刻とも言えます。近隣騒音は、だれもが被害者に



なる半面、だれもが加害者になる可能性はあります。大切なことは、大勢の人が寄り集まって暮らしているという自覚と配慮です。一人ひとりがまわりの人々に対して、いまひとつの心くばりをしましょう。

住宅統計調査にご協力を

10月1日 全国一斉に実施

十月一日現在で、全国いっせいに住宅統計調査が実施されました。

壬生町では、二十六調査区が抽出され、調査の対象となっていました。

この調査は、昭和二十三年以

来五年ごとに行われている、国の最も基本的な統計調査で、どのような建て方、構造、規模の住宅がどのくらいあり、どのような世帯がその住宅に居住しているかを調査します。そして、住宅に困っている世帯がどのく

会がくり出した教育・しつけでのさまざまな「マイナス面」が目立ってきています。

「いい中学、いい高校、大学へ」といった教育に対する過熱、急激な都市化などによる心の荒廃や非行の増大、さらに学生が実

社会に出たがらない、いわゆるモラトリウム現象……。現代は青少年の人間形成にとって好ま

しくない状況が多いといえます。いくら物に恵まれ、社会が豊

かになったとしても、それがあるまま心の豊かさにはつながらない——このことをもう一度確

認し、新しい時代にふさわしい教育のあり方を見極め、実践し

ていくことが大切です。

子供たちの健全な成長につ

て大切なのは、基本的な生活習慣が身につけていることです。

町民のひろば

ぼくらの
七夕かざり



壬生小 6年
武藤 俊秀

皆さんの身近なニュースや話題をお寄せください。連絡いただければ、いつでも取材にお伺いします。また、意見などもお待ちしております。あて先は、企画課広報係へ。

今年もまた、七夕集いが来て昨年と同じように、クラス別にがたり付けを競うことになりました。

ぼくたちのクラスは今年こそ一位の天の川賞をとうとう、みんなが決心して学級会の時間に四ばんに分けてがたりを作りしました。千羽づるを作った人、輪かざりを作った人、とても大きなカラ・ボックスを作った人もいます。どんなできあがりか、いくかざりをみて、これなら天の川賞は確実だ、などと言っていました。最後に、みんなで大んざくに言葉をかきました。それぞれの願いをこめて。

とうとう当日、あるクラスに

はくす玉が、あるクラスには長くて、やつとフルに入れた。と、はつとしました。フルそうじの時、ちょっとむんむんして、なんだか気持ち悪くなりそうだなと思いましたが、雨の日も練習ができるとううれしさに、あまり気にしませんでした。

天の川賞にはおおよす、二位のおりひめ賞でした。少し残念でしたが、とてもよい思い出となり、空にのびるひこぼしとおひめも、きつと落んでたろうと思ひます。

希望のフレイム



壬生小 6年
中村 早枝

フレイムが完成して、「あこれ、やつとフルに入れた」と、はつとしました。フルそうじの時、ちょっとむんむんして、なんだか気持ち悪くなりそうだなと思いましたが、雨の日も練習ができるとううれしさに、あまり気にしませんでした。



短歌

壬生小

校長 田村千一
よい風習と伝統

学校訪問

「校長先生おはようございます」「先生、おはようございます」と本校の児童は、あいさ



夏休みでひとりでした校舎

壬生小文化協会文芸部選
秋山 セン
それぞれの表情を持つ七ヶ地蔵
苦着て梅雨の雨に濡れ居る
奥村 トシ
見学の酒蔵にワインを試飲して
軽やぐバスは甲州路行く
佐藤 キミ
夏の宵の遠くかすか思ひ出に
心ときめきし木の葉笛あり
茂木 富美
点滴の落つるを見つめ事故の子
つがよきてきます。これは私が
赴任した当時からで、この傾向
はずつと以前からのようです。
どうしてだろうとは思っています
したが、壬生小の沿革誌を見て
納得しました。
本校の創立は、明治六十年十
とありますから、すでに百十数
年経っていることになりました。
その間、明治三十二年十一月、
明治四十年十一月の二回にわた
って明治天皇の行幸を仰ぎ、昭
和二十八年八月には三笠宮の御
来臨がありました。
昭和二十九年七月に八十
周年、昭和三十九年九月に九
十周年、昭和四十八年十一月に
は百周年の記念式典を挙げてい
ます。
校庭は、昭和十三年に一七八
八坪拡張あり、校舎の増改築
については約十年おきに生まれ

俳句

の眠りつくまで手を握り居つ
招きたる客を送りて星涼し
草枕一つを凝視む夏の星
人住まぬ門辺にこぼるこの花
酒井 トシ
渡辺 寅八
渡辺 良子

まちのわだ い



心のふれあいに役立ったゲートボール大会

安塚駐在所の田村茂雄会
部長（左）は、ゲートボー
ルを通して、地域住民と心
のふれあいを図ろうと、駐
在所主催のゲートボール大

下町松寿会が 花だんの草取り



除草作業に精を出す松寿会の皆さん

老人クラブの下町松寿会
（荒川重利会長）では、七
月七日役場稲葉支所前西側
国道沿い花だんの清掃奉仕
を行いました。
これは、老人クラブ事業
の一つとして、毎年三十四
回実施しているもので、自
分たちの住んでいるところ
は自分たちの手で――と、
この日は会員二十人が参加

たるみこしで 連帯を



子どもたちも大喜びの夏祭り

安塚睦東子保育園
安塚睦東子保育園（野
沢健治会長）では、七月十
七日手作りのたるみこしを
繰り出して夏祭りを楽しみ
ました。
この日は、朝から雨模様で
したが、参加した子どもたちと父
兄約六十名が、うつつしい梅
雨空を吹き飛ばすかのように、
元気に掛け声をかけて町内を繰
り歩き、楽しい一日を過ごし、
地域との連帯感がさらに深まりま
した。
みこしをかつ
いだ後は、お母
さんたちの作っ
てくれたやきそ
ばやおでんを腹
いっぱい食て
子どもたちは大
喜びでした。

女性の有段者が 誕生

壬生少年剣道教室



初段に合格した大垣さん
（左）と早乙女さん（右）
で、いたのもので、六月に
廣沼で行われた剣道界
段審査会で合格率三〇
％の難関を突破し合格
現在剣道教室で指導者
補助をつとめ、活動さ
れています。

昭和四十六年に、西高野の三上義市
師範が始めた壬生少年剣道教室が女
性の有段者（初段合格者）が二人誕生
しました。
この二人は、下横町の大垣保子さん
（西）と西高野の早乙女利子さん（左）
で、自分たちの子ども指導者として、少年
剣道教室に役立てようと、子ども
もといつしに練習に励ん
でいたもので、六月に
廣沼で行われた剣道界
段審査会で合格率三〇
％の難関を突破し合格
現在剣道教室で指導者
補助をつとめ、活動さ
れています。

